

©イラスト/寺崎 愛

公共駐車場でのマナーをあらためて確認してみよう！

1人1人のマナーに対する心がけが、「くるま旅」の未来を創る！

キャンピングカーのメリットは、車内で快適に就寝や生活ができることだ。その機動力を生かせば、時間を気にせず自由気ままに旅を楽しむことが可能。それこそが、キャンピングカーの最大の魅力であり、醍醐味と言っていだろう。

そうしたキャンピングカーの「自由さ」「楽しさ」を享受するには、マナーの厳守が不可欠だ。しかし、残念ながら、くるま旅ユーザーの増加と共に、各地でキャンピングカーのマナーが問題視されている。例えば、公共駐車場での長期滞在やキャンプ行為。まるでキャンプ場のように、公共駐車場でサイドオーニングやテーブル・イスを広げてくつろいだり、中には屋外で調理したり、洗濯物を干したりする人も……。

公共駐車場は宿泊を前提としたキャンプ場とは違い、あくまでも施設の利用者が休憩、食事、買い物、トイレなどの目的でクルマを止めるための場所。一部のユーザーのマナー違反行為で、一般利用者に迷惑をかけたり、嫌な思いをさせるようなことがあると、どんどん規制が厳しくなり、将来的にくるま旅本来の自由気ままな旅ができなくなる可能性もある。

そうならないために、キャンピングカーユーザーは何をすればいいのか。まず、公共駐車場の本来の目的をあらためて認識し、「公共駐車場はキャンプ場ではなく、利用はあくまでも休憩・仮眠の範ちゅうにとどめる」ということを、常に頭に置いて行動することが重要だ。具体的なマナーは、日本RV協会が提唱する「公共駐車場でのマナー10ヵ条」を確認し、それを厳守する。

「ちょっとだけならいいだろう」という軽い気持ちで、1人1人がマナーの大切さをしっかり認識して行動すれば、それが「自由で楽しいくるま旅」の将来を守ることに繋がるはずだ。

キャンピングカーのくるま旅において、日本RV協会では、ゴミ処理、トイレ処理、給排水、AC電源設備を備え、屋外で調理可能なオートキャンプ場の利用を勧めている。そのほかにも、日本RV協会が認定するトイレや入浴環境などが整い車中泊が公認された有料施設「RVパーク」や一部条件を満たさない「RVパークライト」もある。

こうした施設を積極的に組み合わせながら、公共駐車場ではマナーわきまえて行動する。ユーザー1人1人の心がけで、キャンピングカーのくるま旅は、もっとスマートで、もっと楽しいものになる。

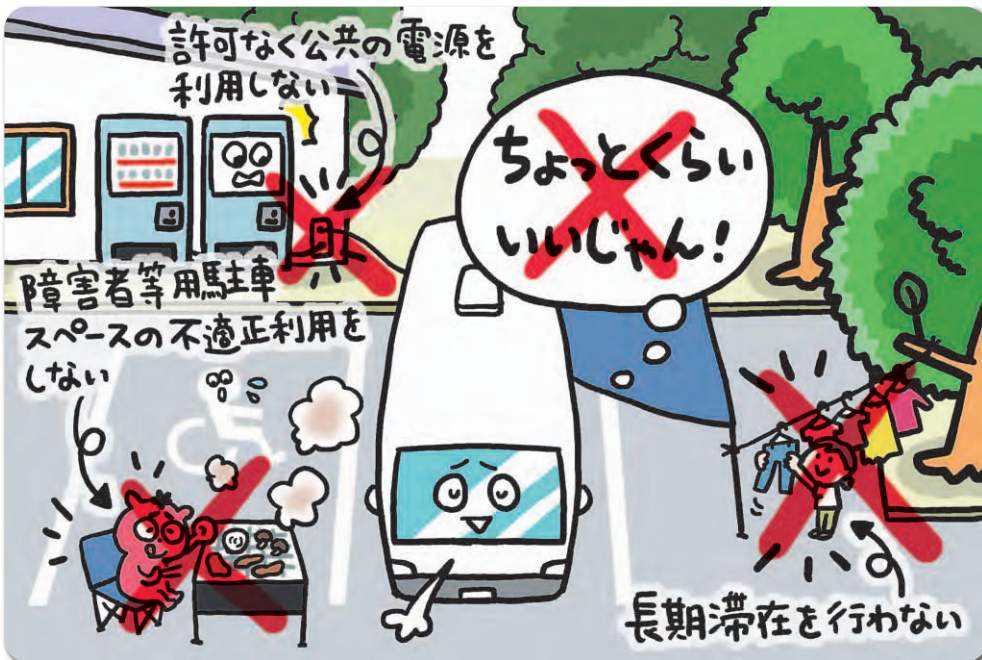
公共駐車場でのマナー厳守10ヵ条



- 長期滞在を行わない
- キャンプ行為は行わない
- 許可なく公共の電源を使用しない
- ゴミの不当投棄はしない
- トイレ処理は控える
- グレータンクの排水は行わない
- 発電機の使用には注意を払う
- オフ会の待ち合わせは慎重に
- 車椅子マークの所に駐車しない
- 無駄なアイドリングをしない

目立つクルマ
だからこそ
マナーを厳守して
スマートに！

同じ楽しみを持つ仲間との交流もキャンピングカーの楽しみの一つだが、クラブや仲間が集まる時は、駐車スペースを占拠したり騒いだりして一般利用客に迷惑をかけないように、細心の注意を払いたい。また、無駄なアイドリングはしないことを心がけ、発電機の使用時は騒音で迷惑をかけないように周囲に配慮しよう。



公共駐車場は
キャンプ場では
ありません！

公共駐車場での長期滞在や、サイドオーニングやテーブル&イスを出してのキャンプ行為は、明らかなマナー違反だ。障害者スペースの不適正利用や公共電源の不正利用も、絶対にNG！「ちょっとだけだから」「空いているから」など、自分勝手な考えでルール違反を犯さないように、自分の行動に責任を持つこと。

ゴミや排水は
持ち帰るか、
キャンプ場&
RVパークで処理！

公共駐車場で、ゴミの不当投棄や排水を行わないこと。くるま旅で溜まったゴミや排水は、自宅に持ち帰って処理するのが基本。長期の旅でそれができない場合は、オートキャンプ場やRVパークを利用して適切に処理しよう。すべての人が気持ちよく過ごせるように、「ちょっとくらい大丈夫」という軽い気持ちは捨てること。

